

もっと知りたい!!

FILE 11

病院のこと・先生のこと。

医療法人社団

ひらの産婦人科医院

産婦人科



〒763-0082 香川県丸亀市土器町東 4-763
TEL 0877-24-6611
URL <https://www.hirano-sanfujinka.com>



ひらの産婦人科医院
院長
平野正志 先生

病院のココが自慢!

スマホの充電ができる

患者さんと接する時に大切にしていることは?

患者さんを区別しない

医師になろうと思ったきっかけは?

ブラックジャックにあこがれて

もし、医師になっていなかったら?

幼稚園バスの運転手

先生が実施している健康法は?

ジムで泳ぐ

当院に期待すること

子宮外妊娠などの救急患者の受け入れをお願いします。

どっち?

犬派

猫派

朝食は

和食

洋食

休日は

インドア派

アウトドア派

好きなもの(こと) Best3!

1 秘湯

2 和菓子

3 PS5 (ゲーム FPS)

フリースペース

雨の日に受診された患者さんへ。
傘を忘れていませんか?
あずかっています。取りにきて下さい。



独立行政法人 国立病院機構

四国こどもとおとなの医療センター

〒765-8507 善通寺市仙遊町 2-1-1 TEL 0877-62-1000
<https://shikoku-mc.hosp.go.jp>
交通機関 ▼善通寺 I.C より車で 5 分
▼ JR 土讃線善通寺駅下車徒歩 25 分

四国こどもとおとな



「和を以て貴しとなす」

四国こどもとおとなの医療センター 院長 前田和寿

2026年4月の新年度になり、医師をはじめ83名が当院の新たな職員となりました。入職者、転入者の職員には、聖徳太子が制定した『十七条憲法』第一条の「和を以て貴しとなす」という語句を話した後、患者さんだけでなく、職員同士、地域の先生、住民の皆様との密なコミュニケーションを進めることをお願いしました。地域の先生方には、新人が多く不慣れなこともあると思いますが何卒ご容赦くださいますようよろしくお願いいたします。

さて一点、ご報告があります。昨年度より1名の泌尿器科医師の退職によりご迷惑をおかけしていましたが、本年度より、香川大学から杉元病院長のご尽力により上田修史先生を派遣していただきました。今後従来通り、御紹介患者を診察することが可能となりましたので、御紹介等よろしくお願ひします。また、新たに8名の研修医が勤務することになり、地域の先生方には研修、ご指導等何卒よろしくお願ひします。

「赤ちゃんの頭のかたち外来」を開設し、矯正ヘルメット治療を導入しました。

独立行政法人 国立病院機構
四国こどもとおとなの医療センター

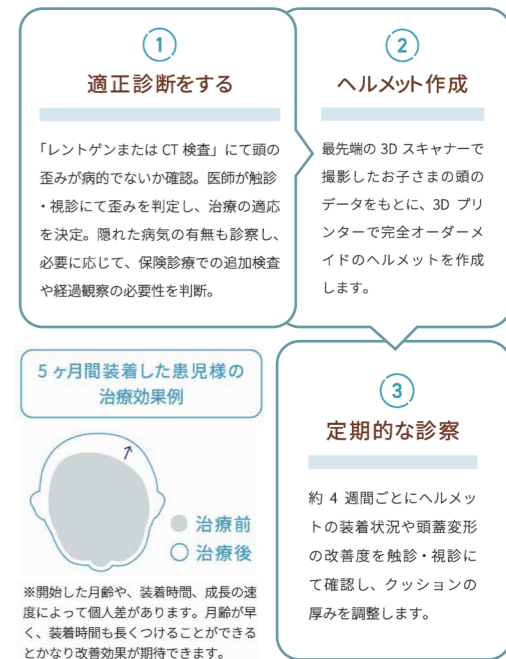
赤ちゃんの 頭のかたち外来

令和7年11月に「赤ちゃんの頭のかたち外来」を開設し、矯正ヘルメット治療を導入しました。



作って終わりではありません。
治療終了まで「安全・安心サポート」

ヘルメット治療の流れ



※開始した月齢や、装着時間、成長の速度によって個人差があります。月齢が早く、装着時間も長くつけることができるとうかがい改善効果が期待できます。

産後ケア 「くすくすテラス」を開始して

地域医療連携室 助産師 堀家王代

2025年12月10日の開始から早いもので4か月が経過いたしました。ぶどういろの丘病棟内に誕生した、当院出産後3か月までの母子を対象とした産後ケア「くすくすテラス」。おかげさまで、現在は1か月半先まで予約が埋まるほど多くの反響をいただいております。

「くすくすテラス」は、産後のお母様がふとした瞬間に「くすくす」と笑みがこぼれるような、軽やかな心を取り戻してほしいという願いから誕生しました。

また病院という専門的なケアの場と地域という日常の生活の場をつなぐ開放的な「テラス」のような存在として、1日1組の密な関わりを大切に、お一人おひとりの「思い」に丁寧寄り添っています。利用者様からは、「ここに来て、やっと自分の呼吸が整った気がする」といった、胸が熱くなるような言葉も届いています。産後ケアは決して「甘え」ではなく、自分を大切にするための「権利」です。「くすくすテラス」がお母様にとって「実家」のような、そして「羽を休める止まり木」のような場所であり続けられるようスタッフ一同努力してまいります。これまでの3か月、そしてこれからの歩も、引き続き温かいご支援をお願いします。



お母様に喜ばれている「癒し」のひとつ

● 心ほどける食の時間

病院食とは違った味わいの「いなほ食堂」のランチボックスをご提供。

食後にはハーブティーとおやつで束の間のティタイムを育児に追われることなく、ゆっくり楽しんでいただいております。

● 身体を労わるケア

産後の冷え対策として足浴や小豆のホットパック（肩・背中）を行い、育児や授乳で頑張った体を深部から温め、心の緊張も優しく解きほぐし、深いリラックスへと誘います。

心地よいオイルマッサージで滞った血流を整え、お一人でゆっくりと入浴を楽しんでいただいております。

● 安心を届ける専門技術

助産師による乳房マッサージを含む、きめ細やかな母乳育児支援を行っています。

不安な育児、初めての授乳、その一つひとつの悩みに寄り添い、解決に向けて一緒に考えて行きます。

● 自分を取り戻す時間

助産師がサポートすることでお母様が「一人の女性」として羽を休められる環境を提供させていただいております。

令和7年度 課題研究「Healing Garden Project への参加」について

香川県立善通寺第一高等学校 デザイン科

支え支えられ、小さな円を大きな縁に

Healing Garden Project とは

2025年春より国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センターで行われているプロジェクトであり、「ホスピタルアート」のさらなる発展を目指して、病院の地上庭園を通して地域の方達の生活環境をより良いものに整えていこうというものである。

私たち善通寺第一高校デザイン科3年生も課題研究の授業で参加し、デザイン科の高校生だからこそできる、「ものづくりを通した癒しの循環」を模索・提案した。

今回のプロジェクトは長期間にわたって参加する。



収穫祭でのシェード作り

4月～6月の期間を使い、地上庭園に置くシェードカーテンのデザインに取り組んだ。総本山善通寺にある五輪塔に対応した「地水火風空」の要素と、プロジェクトに共に取り組む五者（善通寺市役所、総本山善通寺、四国こどもとおとなの医療センター、商工会議所、善通寺駐屯地）のイメージを取り入れた。シェードカーテンの図案として、総本山善通寺の大楠や二頭出水など、善通寺市にある場所や物をデザインした。

6月13日には、医療センターの主催する「収穫祭」に参加し、デザインしたシェードカーテンに、五者のみなさんと共に色をつけるワークショップに取り組んだ。



ものづくりを通した癒しの提案

6月以降、医療センターのアートディレクターである森合音さんをはじめ、Healing Garden Projectのガーデナーである山口智恵子さん、デザイナーの井上由季子さんにお話を伺いながら、私たちにできることでプロジェクトをより良くする企画を考え、「Healing Garden Projectをより良くするための取り組み」をテーマに、3つの活動を軸として実験や制作に取り組んだ。



愛の栽培と染色・ワークショップ



学校の空きスペースで藍の苗を栽培し、収穫した藍の葉を使って染色に取り組んだ。藍染をした布や糸を使った作品づくりのワークショップを企画し、地域の方と一緒に取り組んだ。

屋上庭園でのスケッチ



医療センターの6階にある屋上庭園では、季節ごとに様々な植物が見られる。屋上庭園でスケッチに取り組み、医療センター内に展示することによって、患者さんや地域の人、後輩との対話が生まれた。スケッチを図鑑にまとめる企画も進行している。

記録・広報活動



活動の様子を写真や映像で記録に残し、地域の方や後輩に伝えるための広報活動に取り組んだ。フリーペーパーや映像作品のデザインを中心に制作している。